

栃尾市立東谷小学校、中野俣小学校の被害調査（2004/11/3）

新潟大学：中村友紀子、南部正樹、本多良政、田中寛徳

1．はじめに

栃尾市内にある東谷小学校、中野俣小学校の外観調査を行ったので報告する

2．東谷小学校

東谷小学校は、市中心部より4 kmほど南に位置している。写真1に全景を示す。

校舎は、RC造3階建て建物である。桁行き方向のスパンは変則的で両側は一教室が2スパンになるBタイプ、中央部分が1スパンになるAタイプである。このスパンの大きい中央部の北側構面1階、2階、南側構面の1階柱にせん断ひび割れが生じている他、非構造壁のひび割れ、内部床の変形が見られた。（写真2-7）。体育館はRC部分の柱で鉄筋が座屈している。（写真8、9）



写真1 校舎全景



写真2．北側構面



写真3．校舎北西部の地番の沈下



写真4 . 北側2階柱のせん断ひび割れ



写真5 . 北側1階柱のせん断ひび割れ



写真6 . 1階床の変形



写真7 . 校舎北側（盛り土部分が沈下）



写真8 . 体育館 RC 部分の損傷（鉄筋座屈）



写真9 . 体育館 RC 部分の損傷

3. 中野俣小学校

中野俣小学校は、栃尾市の南部、守門村側の山間部に位置する。校舎、体育館は木造である。2棟の木造校舎を写真1、2に示す。基礎コンクリートのずれ、ひびにより写真左側が、全体的に沈下している(写真3)。また、基礎部分の木材の腐朽がみられた(写真4)。周辺民家は殆ど無被害、土蔵には被害が見られた(写真5)。2kmほど先の道路は波打っていた(写真6)。



写真1. 木造校舎（左側屋根が湾曲）



写真2. 木造校舎と敷地内の神社



写真3. 基礎コンクリートのずれ



写真4. 腐朽した基礎



写真5. 周辺の様子（土蔵にのみ被害が見られた）



写真6. 2kmほど先の道路